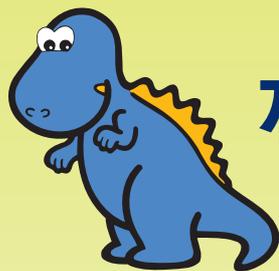


アザミウマ類・キスジノミハムシ等の 広範囲の害虫をしっかりと防除



石原

ガゼット[®]粒剤

FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



特長

- ★コナガ、ネギアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、キスジノミハムシなど難防除害虫に優れた効果を示します。
- ★かんしょやいちごの、コガネムシ類(幼虫)など土壌害虫に優れた効果を示します。
- ★優れた浸透移行性により、薬剤のかかりにくい部分でも十分な効果を示します。
- ★適用作物が幅広く、処理時期、処理方法も幅広いので、汎用性のある薬剤です。



適用害虫と使用方法(抜粋)

※は育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5ℓ)1箱当りの使用量

作物名	適用害虫名	10アール当り使用量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数
水稻 (箱育苗)	イネミスゾウムシ イネドロオウムシ、イネゾウムシ イネヒメハモグリバエ	40~70g*	移植前3日~ 移植当日	育苗箱の苗の 上から均一に 散布する。	1回	1回
	ヒメトビウンカ ツマグロヨコバイ	50~70g*				
	イネシンガレセンチュウ	70g*				
さとうきび	ハリガネムシ メイチュウ類 コガネムシ類幼虫	6~9kg	植付時	植溝土壌混和	1回	3回以内 (植付時の土壌混和は 1回以内、培土時の 土壌混和は1回以内、 散布は1回以内)
			培土時	株元土壌混和		
ピーマン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	育苗期後半:株元散布 定植時:株元散布又は 植穴土壌混和	1回	1回
		1g/株	育苗期後半			
たばこ	アブラムシ類	6kg	定植時	作条土壌混和	3回以内	3回以内
きく		2g/株(但し、18kg/10aまで)		株元散布又は 植穴土壌混和		
		ネグサレセンチュウ		30kg		
	ミカンキイロアザミウマ	9kg	生育期	株元散布		
ストック	コナガ	18kg	定植時	全面土壌混和	1回	1回
		9kg				
シクラメン	キンケクチプトゾウムシ幼虫	1~2g/株	生育期	株元散布	1回	1回
ベゴニア		1~2g/株(但し、18kg/10aまで)				
プリムラ		1~2g/株				
	キンケクチプトゾウムシ成虫	0.5~2g/株				
つつじ類	ツツジグンバイ	10kg/株(但し、18kg/10aまで)	定植時及び 生育期	定植時:全面土壌混和及び 株元土壌混和 生育期:株元土壌混和	2回以内	2回以内
イチイ	キンケクチプトゾウムシ幼虫	2g/株	生育期	株元散布	1回	1回
芝	コガネムシ類 シバオサソウムシ成虫 ケラ	5~10kg	発生初期	散布	3回以内	3回以内

⚠ 使用上の注意事項(抜粋)

一般的注意事項(共通)

- 本剤を使用した場合には、ベンフラカルブを含む剤を使用しないでください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

畑作に使用する場合

- 定植時に植穴処理する場合には、植付苗の根に薬剤が直接触れると薬害を生じるおそれがあるので、軽く土壌と混和してください。
- 土壌が極度に乾燥している時は、処理後灌水してください。
- ピーマンに使用する場合、過剰に施用すると、下葉の黄変、葉縁の黄化等の薬害を生じるので、使用量を誤らないように注意してください。

※水稻(箱育苗)に使用する場合は製品ラベルの注意事項を守ってください。

魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川・養殖池等に流入しないよう、水管理に注意してください。ニジマスには特に影響を及ぼすので、注意してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼・乾燥した所に、鍵をかけて保管してください。盗難、紛失の際は警察に届け出てください。

※本印刷物は2023年3月時点での知見に基づいて作成しています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手が届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌に記帳しましょう。

- 医薬用外劇物につき、取扱いには十分注意してください。**誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤による中毒に対しては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

